

7-7-1 C I M対応SWG

1. SWGの活動目的と実施体制

建設事業全体における生産性の向上及び品質確保等を目的として、国交省が推進する「BIM/CIM」ならびに「i-Construction」等の取組みに対して、技術的課題や懸案事項等を明確にし、関連機関による技術検討活動等を通じて、建設コンサルタンツ協会として対外的に情報発信をすると共に、関連する技術情報を各種委員会および協会掲示板等を通じて情報共有を図った。

実施体制は、技術委員会およびICT委員会の各分野の専門技術者により構成されるSWG委員により技術対応を実施した。

2. 今年度の活動概要

(1) CIM対応SWG

- ① 技術委員会月次報告：BIM/CIM関連についてSWG活動概要を技術委員会に報告した。
- ② 第1回SWG（H30.7.31）：活動計画、予算、関連技術の動向、リクワイヤメント対応状況調査依頼等について対応方針を確認した。
- ③ 第2回SWG（H30.8.21）：リクワイヤメント対応調査結果（速報）、BIM/CIM活用促進WGの活動状況、事例集の構成案作成等について報告した。
- ④ 未来塾対応：CIMリクワイヤメントに対する対応事例や関係機関協議および設計照査時における活用事例等を収集整理した。
- ⑤ 国交省職員研修対応：CIMリクワイヤメント対応状況等について講師派遣の他、情報共有ASP及びWEB会議の活用試行を実施した。

(2) BIM/CIM推進委員会

- ① 第1回委員会（H30.9.3）：今年度の実施体制、過年度の取組み状況、関連基準・要領等の改定、3DA契約用モデル、人材育成計画、データ交換標準等に関する現状と課題対応に関する情報共有ならびに審議に参加した。
- ② 第2回委員会（H31.4.23）：平成30年度のワーキンググループ（WG）の検討結果や平成31年度の検討方針等について情報共有した。

(3) ガイドライン・要領基準改定WG

分野別ガイドライン（全7編、H30.3版）のフォローアップおよび関連基準改定等の対応をWG及び分野別SWGにて検討を実施した。国交省及び関係諸団体と連携し、情報共有を図った。

(4) 実施体制検討WG

① 第1回WG（H30.12.20）

② 第2回WG（H31.3.5）

今年度の実施体制、3Dデータの契約図書化に向けた制度検討、3Dオブジェクトの供給、BIM/CIMに関する受発注者の育成計画、リクワイヤメントの在り方、利活用状況等について情報を共有した。

(5) 国際標準対応WG

① 第1回WG（H30.12.26）

② 第2回WG（H31.3.6）

今年度の検討体制、国内のデータ交換標準、BS、PAS1192を踏まえた国内対応、官民研究開発投資（PRISM）、国際動向の把握、4Dモデルによる施工情報の連携、今後の予定等について情報を共有した。

(6) 活用促進WG

① 第2回WG（H30.11.30）

② 第3回WG（H31.2.7）

③ 第4回WG（H31.4.24）

BIM/CIM活用事業成果および成果品データ検証、リクワイヤメント対応、オブジェクト共有、事例集とりまとめ状況、H30年度活用業務、工事の実施状況と課題、普及状況調査結果等について情報を共有した。

(7) ICT導入協議会（i-Construction）

- ① 第8回協議会（H31.3.1）：ICT活用状況及び関連基準類及び新たな取組み等について国交省、関連諸団体と情報を共有した。

(8) コンクリート生産性向上検討協議会（同上）

- ① 第6回協議会（H31.3.14）：コンクリート工の全体最適（規格の標準化等）を図る手法検討にかかる協議に参加した。

(9) その他関連する技術対応：BIM/CIM活用促進に向け、国交省、研究機関及び関係諸団体との意見交換や関連調査への協力等を適宜実施した。

（CIM対応SWG SWG長 加藤 雅彦）